

<ワークショップ開催のご案内>

人権尊重の実現に向けたスポーツイベント開催について
～東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を2年後に控えて～

2013年に東京が開催都市として選ばれて以来、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下、東京2020組織委員会）は[持続可能性](#)に取り組んできました。これまでに、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 持続可能性に配慮した運営計画フレームワーク」、「持続可能性に配慮した運営方針」、「持続可能性に配慮した調達コード」と木材、パーム油、水産物、農産物、畜産物、紙に関する「持続可能性に配慮した調達基準」等が策定され、2018年4月には「持続可能性に配慮した調達コード」に係る苦情処理メカニズムが設置され、6月には持続可能性に配慮した運営計画（第2版）が策定されました。

2017年9月、経済人コー円卓会議日本委員会とMSE Platform（Centre for Sport and Human Rightsの前身）は『「ビジネスと人権に関する指導原則」の実践に向けて～メガスポーツイベントにおける持続可能な調達の実施を通じて～』と題する[ワークショップ](#)を世界で初めて開催しました。このワークショップでは、東京2020組織委員会をはじめ、国内外のスポンサー企業、市民社会、専門組織等が一堂に集い、主に人権リスク、ベストプラクティス、苦情処理メカニズムに焦点を当て、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京2020大会）の準備・運営に関わる全てのアクターが人権に関する義務と責任を実際の活動に組み込み、実行できるようにするにはどうすればよいか意見を交わしました。

2018年9月10日、Centre for Sport and Human Rights および経済人コー円卓会議日本委員会は、フォローアップを兼ねたワークショップを再び東京で開催いたします。本ワークショップでは、東京2020大会に関連する潜在的インパクトへの対応状況を確認するとともに、2年後の開催に向けて残る課題について検討します。

つきましては、下記要領にて実施いたしますので、ご多用中のことと存じますが趣旨をお含みいただき、何卒ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

実施概要

題 名：人権尊重の実現に向けたスポーツイベント開催について
～東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を 2 年後に控えて～

主 催：経済人コー円卓会議日本委員会、Centre for Sport and Human Rights

日 時：9 月 10 日（月）9 時から 15 時半

場 所：AP 東京丸の内（東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー 3 階）

後 援：スイス大使館

参加費：無料

その他：日英通訳あり

対 象：ワールドワイドオリンピックパートナー、東京 2020 オリンピック・パラリンピックゴールドパートナー、オフィシャルパートナー企業の、五輪・CSR・人権・調達部の担当役員および部門責任者の皆様。各社 1～2 名のご参加。

尚、3 名以上でのご参加を希望される場合には、個別にお問合せください。

定 員：60 名 ※先着順

申込方法：下記 URL よりお申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/c5e9741a91236>

予定プログラム

09:00-09:30 開場

09:30-09:45 開会の挨拶

- 経済人コー円卓会議日本委員会 会長 矢野弘典
- スポーツと人権センター (Centre for Sport and Human Rights) デピュティ・チーフ・エグゼクティブ ウィリアム・ルーク (William Rook)

09:45-10:15 基調講演 – 日本、オリンピズム、人権

日本政府および国際オリンピック委員会の人権ならびにサステナビリティへのコミットメント

- 内閣官房 東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局 企画調整担当 三谷 彬之
- 国際オリンピック委員会 (International Olympic Committee: IOC) (調整中)

10:15-11:00 人権に関する取り組み状況について

東京2020大会に関連する様々な予防および救済メカニズムの概要

- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 持続可能性部部長 荒田 有紀氏
- 厚生労働省 労働基準局監督課 企画・法規係長 吉田篤史氏 (調整中)
- 外務省 経済局 経済協力開発機構室長 正本謙一氏
- ファシリテーター: スポーツと人権センター (Centre for Sport and Human Rights) シニアアドバイザー ヘイリー・セント・デニス (Haley St. Dennis)

11:00-12:30 救済について

東京2020大会で利用可能なメカニズムへのステークホルダーの意見と今後への期待

- 世界選手会連合 理事 山崎 卓也氏
- ヒューマン・ライツ・ウォッチ 日本代表 土井香苗氏

- 国際労働組合総連合アジア太平洋地域組織（ITUC Asia Pacific） 書記長 吉田昌哉氏（調整中）
- 国際建設林業労働組合連盟（Building and Wood Workers International: BWI） 書記長 アンベット・ユソン氏（Ambet Yuson）
- ファシリテーター：経済人コー円卓会議日本委員会 事務局長 石田寛

12:30-13:30 昼食

昼食の用意はございません。近隣の飲食店をご利用ください。

13:30-15:00 次の12ヶ月に向けて

グッドプラクティス事例の共有

- 国際建設林業労働組合連盟（Building and Wood Workers International: BWI） 書記長 アンベット・ユソン氏（Ambet Yuson）
- 経済協力開発機構（Organisation for Economic Co-operation and Development: OECD） レスポンシブルビジネスコンダクト ヘッド クリスティナ・テバル・レス氏（Cristina Tebar Less）（調整中）
- DLA Piper ビジネスと人権 アソシエイト ダニエル・ダンブロージオ氏（Daniel D'Ambrosio）
- Liberty Asia 法部門 ヘッド アルチャナ・コテチャ氏（Archana Kotecha）
- 国際労働期間（ILO）（調整中）
- ファシリテーター：スポーツと人権センター（Centre for Sport and Human Rights） シニアアドバイザー ヘイリー・セント・デニス（Haley St. Dennis）

15:15-15:30 閉会の挨拶

- スポーツと人権センター（Centre for Sport and Human Rights） デピュティ・チーフ・エグゼクティブ ウィリアム・ルーク（William Rook）
- 経済人コー円卓会議日本委員会 事務局長 石田寛

※プログラムおよびスピーカーは変更となる可能性がございます。ご了承下さい。